

視点・論点

12月定例会

12月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務文教委員会

副委員長 坂本 靖男
委員 坂本 靖男

今期定例会で付託を受けた議案七件等について審査を行った。「春日市スポーツセンター条例の一部改正について」は、温水プールの使用料を、市民の利用形態に応じ、公平性と受益者負担の観点から設定するものである。審査の過程では、三月定例会に提出された請願、「サークル団体と十分な協議を行う」が焦点となり、請願者の方を参考人として招致し意見を伺った。その結果、十分な協議がなされていないなどの反対意見と、他の施設も含め公平であるべき、協議に対しては執行部の努力が見られるなどの賛成意見があり、採決の結果、賛成四、反対一の賛成多数で可決した。

平成二十一年度春日市一般会計補正予算(第五号)では、生活保護費の増額の理由として、厳しい経済状況や雇用問題等により対象者が増え、増額になった事を確認した。また、春日南中学校防球フェンス増設について、新設より増設のほうが安価であるとの確認を行った。その他、慎重に審査を行った結果、全員賛成で可決した。

地域活性化等の一環である、小中学校にデジタルテレビ等を取得するに当たり、参加可能な市内業者で入札を実施した旨を確認、全員賛成で可決した。

市民厚生委員会

委員長 塚本 良治
委員 塚本 良治

当委員会に付託された議案九件、請願二件について審査いたしました。「春日市税条例の一部を改正する条例の制定について」は、寄付金税額控除の対象となる寄付金の範囲を拡充するものです。「春日市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について」では、準備期間を十分にとり、保護者説明会や、ならし保育を行うなど保護者に対して最大限理解を得ていくなどの説明を受けました。その他、「春日市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について」「春日市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定について」「福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」及び、特別会計補正予算についての四議案は、全て全員賛成で可決しました。また、「後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出を求める請願について」「二〇一〇年度年金の確保に関する請願について」の請願二件は、賛成者がなく不採択となりました。

なお、継続審査となっていた特別会計決算の四議案については、閉会中に審査を行い全員賛成で認定しました。

地域建設委員会

委員長 松尾 嘉三
委員 松尾 嘉三

先の定例会で継続審査となっていた決算議案は二件。土地取得事業特別会計歳入歳出決算は、土地開発公社との整合性の質疑がなされた。下水道事業会計収入支出決算は、使用料収入減の原因は大口利用者の節水が影響ではないか、仮称フォレストシティ完成時の使用料収入見込み等の質疑がなされた。いずれも全員賛成にて認定した。

今期定例会にて付託された議案は八件であった。第一〇六号議案「財産の交換について」は、開発行為の区域内での道路築造に伴う財産の交換に当たり、市議会の議決が求められたもので、開発計画の段階で交換をする必然性はあったのか等活発な質疑がなされた。また、土地交換によりナギの木苑の土地形状が良くなり賛成との意見や、民間開発なので、本市が所有する土地で開発に必要な道路部分を売却した後開発すべき、開発前の評価額と比較して議論すべきとの反対討論もなされた。採決の結果、賛成多数にて同意した。また、「春日市道路及び河川占用料条例の一部を改正する条例の制定について」は賛成多数にて可決し、その他六議案については全員賛成にて可決、承認、同意した。

決算審査特別委員会

委員長 五藤 源寿
委員 五藤 源寿

本委員会に付託を受けた「平成二十一年度一般会計歳入歳出決算認定」について、議会閉会中に四日間にわたり慎重に審査を行いました。平成二十一年度の歳出決算額は、二五億六八〇三万円となっております。審査の過程での主な意見としては、市営住宅の整備については、建築後の経過年数が三十五年を経過している棟もあることから基金の目標年次・目標額等について計画を作成し安心できる住宅計画を確立すべきではないか。市内小中学校の施設整備やコミュニティ・スクールの取り組みなどが学力の向上につながっているのか。古紙等の集団回収については、取り組みの意欲をそがないように報償金の交付額を調整する必要があるのではないかと。市民スポーツセンター整備のための基金については、もっと積み立てが必要ではないか。図書館運営については、毎年不明となっている図書対策に関してもっと研究が必要ではないか。春日の森特別緑地保全地区整備事業に関しては、区域への影響が懸念されるならば、民有地についても指導すべきではないかなどの意見が出されました。採決を行った結果、全員賛成で認定することに決定しました。